

鈴

木

2021
SPRING

直

Report
Vol.3

〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和3年5月発行



鈴木直道レポート 3号 [活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]

プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選



ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。平成31年4月に知事に就任してから2年が過ぎ、私が政治の世界に身を投じてからはちょうど10年が経ちました。多くの方々に支えられながら、今こうして北海道知事を務めさせていただいていることに改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、今もなお予断を許さない状況が続いています。この間、道民の皆さまの命と暮らしを守るために対策に、全力で取り組んでまいりました。これからも皆さまの不安に寄り添いながら、感染症への対応を最優先として取り組んでまいります。その上で、コロナ禍において顕在化した、都市一極集中への懸念やサプライチェーンの再編、デジタル化や脱炭素化などの動きを的確に捉え、ポストコロナを見据えた政策を積極的に進めてまいります。

引き続き、皆さまのご理解とお力添えをいただきますようよろしくお願ひいたします。

令和3年度の重点政策は
「命と暮らしを守り
未来を切り拓く」予算



医療体制等の充実強化

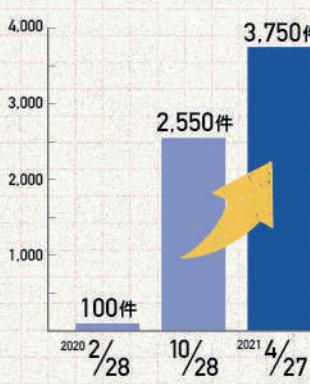
新北海道スタイルの定着促進と経済への影響対策

学びや生活の安全確保と道民の健康づくり

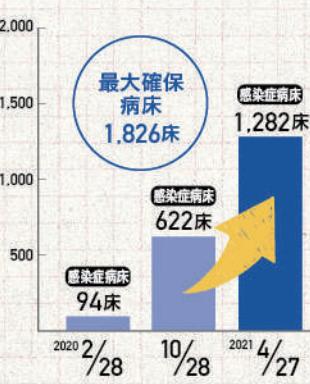
最優先で取り組む3つの政策

医療体制の強化

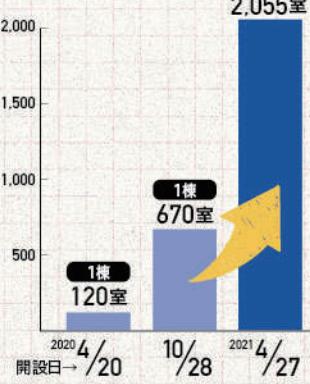
●PCR検査能力



●受け入れ体制



●宿泊療養施設



第3波の急激な感染拡大時の病床の利用ピークは998床でしたが、現在医療機関の皆さまのご理解とご協力で即応病床数は1,282床、最大確保病床数は1,826床となりました。また、軽症者向けの宿泊療養施設も全道6圏域に9棟2,055室を確保し、機動的に対応していきます。また、ワクチンの接種体制の整備やいつでも相談できる窓口の確保を図ります。

経済対策

新年度コロナ対策6,431億円 事業者支援に手厚く措置

令和3年度当初予算では、今後のさらなる感染拡大も想定しながら万全の準備を行うという考えのもと、ワクチン接種体制の整備、医療検査体制の強化を進める一方で、コロナによる売上減少、感染防止対策やテレワーク導入による経費増加で厳しい経営環境にある事業者の支援に手厚く措置しました。

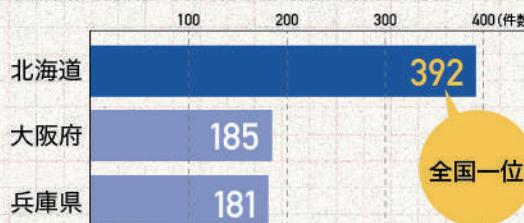
【主なコロナ関連事業】

ワクチン接種体制の整備	約3億円
軽症者等用宿泊療養体制の整備	約216億円
中小企業者の資金調達の円滑化	約4,503億円
時短・外出自粛等により影響を受けた事業者への支援	51億円
企業等におけるテレワーク導入促進	約2億円

変異株のスクリーニング検査件数一位

変異株の感染が確認されてから、北海道ではいち早く変異株のスクリーニング検査を開始しました。変異株の増加が全国的に現れ始めた3月時点で、全国一位の検査数を実施しています。変異株の感染拡大が予想されたため、3月27日に札幌市内における不要不急の外出自粛・往来自粛をお願いしました。

●変異株のスクリーニング検査件数(3月15日~21日)



ふるさと納税 全国一位に!

令和元年度の個人からのふるさと納税、企業版ふるさと納税共に都道府県別ランキングで北海道が一位となりました。

◆個人による納税件数(道と市町村の合計)

令和元年度 約382万件

平成29年度 約220万件

2021年3月27日~

3月7日の集中対策期間終了後も、札幌市内における不要不急の外出自粛の要請など、引き続き、感染の再拡大の防止に向けて取り組んでおります。



政治活動10年の節目を迎えて

鈴木知事

Interview

鈴木直道応援団・インタビュー

夕張時代を支えた『恩人』が語る

鈴木直道 政治活動の「原点」

「自分には息子が2人いるけど、もう一人の息子みたいなものでね」

鈴木知事を古くから支えてきた功労者の一人。埼玉県三郷市で会社勤めをしていたころ、知事の近親者との縁で、当時高校生だった直道少年と出会った。大人相手でもまったく物おじせずに話をする姿を見て、「変わった子だな」と思ったのが第一印象だ。

東京都職員となり2年間の夕張派遣を終えた直道青年は、衰退したまちを立て直すため、市民有志から夕張再生の要請を受け、平成23年の夕張市長選への出馬を決断。同郷のよしみで急きょ選挙を手伝うことになり、2人で雪の中、市内を歩いて回った。「最初は『東京から来た人でしょう』と冷めた態度だった市民にも、熱意が次第に伝わって

いた。辛かったけど楽しかったですね」と振り返る。

全国唯一の財政再生団体のまちに、当時最年少だった30歳の市長が誕生。それから1年ほど経ったある日、直道・麻奈美夫妻から一通の手紙が届いた。そこには「夕張再生に力を貸してほしい」という思いが切々とつづられていた。その志の高さと情熱に心打たれ、夕張への単身移住を決意。平成27年には夕張市議会議員となり、若き市長のサポート役に徹してきた。5年前には奥さんも夕張市民に。



鈴木知事と会う機会は以前より減ったが、「立場は変わっても人柄は昔のままでね」。ボクシングの2階級制覇全日本社会人チャンピオンで、大学時代にボクシングで鍛えた知事とは共通の話題で盛り上がることも。栃木県出身の75歳。

道民の皆様へ
新型コロナウイルス緊急事態宣言
令和2年2月28日

今では当たり前になったマスク姿での記者会見ですが、全国の知事の中で初めてマスク姿で記者会見を行ったのは鈴木知事でした。令和2年2月、当時の安倍総理にコロナへの対応を要請した際も、マスクを着けていたのは鈴木知事だけ。当時は「なぜ記者会見でマスクをするのか」という批判も浴びましたが、「あえてマスク姿を見せることで道民の皆さんに危機感と必要性が伝わると考えたから」というのが、その理由でした。

北海道から広まった『知事マスク会見』、 フリップやボードを多用した新スタイル

2月28日の「道独自の緊急事態宣言」では、フリップを使って道民の皆さんへの呼びかけを行いました。当初は言葉のが一日で『大変だ』わかるような方法で多くの方にご理解用意。回数を重ね、今では見慣れたスタイルになりましたのですね。

SCOOPI! の裏側
記者会見

記者会見の最長時間
2時間27分 (令和2年2月21日)
平均時間
1時間11分 (令和2年10月30日～令和3年1月6日)

真相に迫る! そうだったのか記者会見!?

本当は長~い会見時間

QRコード

大空町で初開催
リモート後援会が大成功!

コロナ禍で皆さまとの交流が図れない中、10月31日、初のリモート後援会を大空町で開催しました。この日は後援会の設立総会も兼ねており、高橋肇会長らが万全の感染症対策を実施。「回線が途切れたりしましたが、おおむねスムーズに進めることができました」とリモート担当の河西大輝事務局長。札幌から参加した知事も地域の方々とふれあう機会を喜び、後援会としても今後リモート開催を増やしていく予定です。

5~6月に見頃を迎える東藻琴芝桜公園は庄巻。知事には特産の豚肉やシシミもぜひ食べてほしいです」と語る大空町後援会の河西大輝さん

ホームページをリニューアル!

政治活動10年の節目を迎え、活動内容をより深く知っていただくため、鈴木直道後援会ホームページを大幅リニューアルしました。毎日更新中のSNSは、スマホからもパソコンからもどなたでもご覧いただけます。

<https://www.naomichi-suzuki.com/>

SNSでの情報は
←コチラを

QRコード

君島 孝夫さん
会社員、実業家、中央大学ボクシング部監督を経て、現在、夕張市議会議員(2期)。鈴木知事とは家族ぐみの付き合いを続ける

鈴木直道 フォトグラフ



6/24 聖火セレモニーに出席

東京五輪の聖火リレーに代わる記念セレモニーを、白老と札幌で行いました。安心・安全な大会運営を組織委員会に要請し、競歩、マラソンについても観戦自粛を呼びかけました。



7/17 ウポポイが開業一周年
昨年7月の開業以来、徹底した感染症対策に加え、日々工夫を重ねながら運営されていることに感謝の思いで一杯です。一周年記念式典には加藤勝信官房長官(当時)も来道されました。



7/27 「縄文遺跡群」世界遺産に

道民にとって長年の悲願であった「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録が正式決定しました。これを北海道の觀光振興や経済活性化につなげていきます。

8/25 戦没者追悼式に参列

先の大戦でお亡くなりになったすべての方々の御靈に対し、謹んで哀悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにしました。追悼式は、感染防止の観点から規模を縮小して実施しました。

フォロワー数3万人突破! 知事インスタが人気急上昇!

知事のインスタグラムでは、テレビや新聞などでは見られない鈴木知事の日常を写真付きで紹介しています。インスタは若者から年配の方まで多くの人が使っているアプリで、「知事の投稿内容について、子どもや孫と盛り上がるようになりました」といううれしい声も。



写真と知事のコメントが見られます。絵日記のような雰囲気で、コメント欄にはたくさんの方からの書き込みがあります。鈴木知事の本音に共感したり、各地のおいしい食べ物について情報交換したり、皆さまが楽しくコミュニケーションする場にもなっています。

ワクチン接種についての話題では、これを見てワクチン接種について前向きに考えるようになった若い世代の声も多くありました。

石狩地区とオンライン後援会



6月下旬、石狩と札幌を結び、オンライン後援会を開催しました。この日は設立総会を兼ねており、鈴木知事は石狩地域選出の佐々木大介道議、後援会の皆さんと懇談し、コロナ禍での大変貴重な交流となりました。



イシカン社長 鈴木圭一さん



活力あふれる北海道の未来を実現する会 似鳥 昭雄会長



毎日更新、
140文字で
いち早く情報を
お届けします



鈴木知事の
活動をじっくり
読みたい方は
こちらを!



北海道大好きな
鈴木知事の
日常を写真で
掲載しています



鈴木直道レポート 4号
〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和3年11月発行

鈴木直道 Report Vol.4

2021
AUTUMN

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]
鈴木直道レポート 4号

新たなる決意

安心社会の実現へ



ZERO CARBON HOKKAIDO

ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

知事の4年の任期も、残り1年半を切りました。就任1年目より新型コロナウイルスの感染拡大のため、地域に足を運ぶ機会が減ってしまったことは大変残念でした。感染症との闘いは長期化しておりますが、道民の皆さまの命と健康、暮らしを守ることを最優先に考え、全力で対策に取り組んでいます。

その上で、北海道が飛躍するための新しい取り組みも次々と具体化が進んでいます。ポストコロナを見据えた「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた省庁連携によるタスクフォースが設置され、「デジタル化」と共に大きく動き始めております。これからも国などと連携しながら北海道ならではの強みを生かした政策を加速していきます。

引き続き、活力あふれる北海道の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

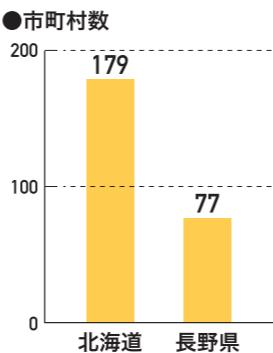
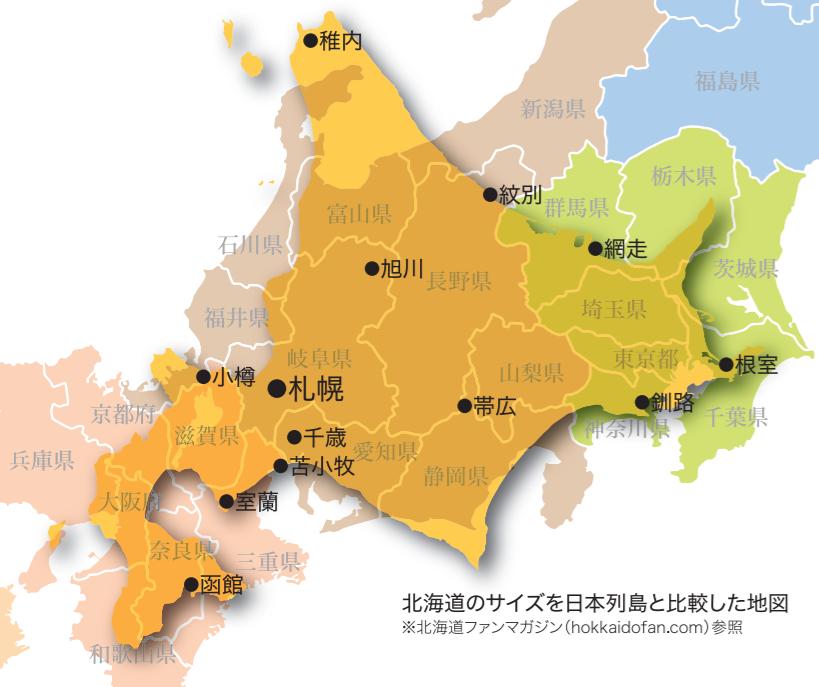
プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選



広さは22県分！ 北海道におけるコロナ対策の難しさ

北海道は179市町村という全国一の市町村数を有し、2位の長野県の2倍超と群を抜いています。東京都から大阪府までがすっぽりと入ってしまうほどの大さであることから、他地域にはない感染対策の難しさがあります。鈴木知事はこうした地域の実情に即した措置を国に求め、医療体制の強化などの体制づくりに注力しました。



道独自のワクチン接種センター開設

コロナワクチン接種は予防接種法に基づき市町村が実施するものですが、札幌圏での感染拡大を受け、6月19日、道独自の「北海道ワクチン接種センター」を札幌市厚別区に開設しました。10月末現在で道内における接種率(医療従事者を含む)は1回目76.5%、2回目69.4%となり、今後も接種を希望する方が速やかにワクチンを打てるようしっかりと後押ししてまいります。

コロナ禍だからこそ北海道の魅力を発信！

全国からも、道民からも、愛される北海道

都道府県魅力度ランキング	1位
居住地の愛着度ランキング	1位
ふるさと納税ランキング	1位

ふるさと納税2年連続で全国1位に

愛着度ランキングでは道民の約9割が北海道にとても愛着があると答え、魅力度ランキングで前年の60.8点から12.6点も上昇しコロナ禍で最も伸びが大きかった北海道。ふるさと納税では都道府県別納税額で北海道が鈴木知事就任後2年連続で1位を達成しました。令和元年度660億円から令和2年度は975億円へ大きくアップ。北海道応援団会議の参加企業と、地場産業を応援したいという皆さまとの連携も注目を集めています。

1位 北海道	975.1億円
2位 鹿児島県	398.2億円
3位 宮崎県	365.4億円

ピンチをチャンスに変えるセールス力

コロナ禍で百貨店での北海道物産展の中止が相次ぐ中、首都圏のスーパーで北海道フェアを開催。前年同期比約2倍の売り上げを計上し、道産品の知名度アップに貢献しました。

どさんこプラザ出店ラッシュ！

「どさんこプラザ有楽町」は年間売り上げ10億円以上と、全国のアンテナショップの中でもトップクラスの売上高を誇ります。日本の玄関口羽田空港店に続き、9月にはかねてから需要の大きかった関西圏初、大阪のランドマークである大阪あべのハルカス近鉄本店に出店。魅力ある道産品を全国に向けて次々と発信しています。



東京、大阪に続き 北海道が全国3番目の 病床数を確保

北海道の最大確保病床数は東京、大阪の大都市圏に次ぐ全国3番目となる2000床(病床使用率2.8%)。さらに宿泊療養施設は2500室を確保(使用率0.7%)しています。

今後の感染拡大に備える重要な時期を迎えており、感染防止対策の徹底はもとより、ワクチン接種の促進と保健・医療提供体制の拡充・強化とともに、地域の皆さんとも連携を図りながら、しっかりと感染症対策に取り組んでまいります。



第6波に備え、大規模臨時医療施設開設へ

現在「ホテルフォルツア札幌駅前」の一部を臨時医療施設として活用していますが、新たに「アパホテル札幌すすきの駅西」を整備しました。130床あるベッドはすべて酸素投与ができ、入所者への治療が可能となります。感染者数を抑えていくとともに、必要な際にはこの臨時医療施設を活用し、軽症の方が重症化しないよう取り組んでまいります。



最近よく目にする全国知事会って何？

全国知事会とは地方行財政に関し、内閣または国会に意見を申し出ることができる団体です。コロナ禍においての地方自治体からの意見を国に伝えるなど、大きな役割を果たしています。知事会としての提言には鈴木知事からの発言が盛り込まれました。



ポストコロナを見据えて グリーン社会とデジタル化の実現へ始動

「ゼロカーボン北海道」を推進

鈴木知事は2050年までに北海道の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする、「ゼロカーボン」の実現を目指しています。政府は脱炭素化の達成のためには、太陽光・バイオマス・水力発電など再生可能エネルギーの宝庫である北海道での取り組みが欠かせないとして、「骨太の方針2021」にも「ゼロカーボン北海道の実現」を盛り込みました。北海道は再生可能エネルギーをはじめとするポテンシャルが非常に高く、菅義偉内閣総理大臣(当時)からも、ゼロカーボンの実現に向けて、北海道での取り組みをしっかり進めていきたいとのお言葉をいただきました。



石狩データセンターを視察

国はデジタル化の推進に伴い、データセンターを地方へ分散させる計画を進めています。北海道は涼冷な気候を生かした効率的な冷却システムに加え、日本の中で一番アメリカ・ヨーロッパに近いという地の利があり、関連産業の誘致や振興に積極的に取り組んでいます。



“インターネットの父”を顧問に

本道のデジタル化を推進するため、「インターネットの父」と呼ばれる慶應義塾大学の村井純教授に北海道顧問への就任を依頼し、7月20日、オンラインにて任命式を行いました。今後、関連施策について幅広く助言・協力いただきます。

